



坂田 有 妃 子 さかた ゆきこ

坂田有妃子は絵画等の美術活動ののち、あらたな表現方法を模索して身体表現へ向かい、多数のダンス・ワークショップで研鑽し、同時に1994年から2000年は国内外で活躍する「劇団 指輪ホテル(羊屋白玉主宰)」の主軸パフォーマーとして数々の公演に出演しました。国内ではホンダシアター・相鉄ホール・森下スタジオ、その他多数の舞台を経験し、海外ではChepter Arts Center・Cardiff・UK、ICS・London、Klub Zak・Gdansk・POLAND、Japan Society・New York・USA、PICA Portland・USA等での公演に出演。2013年「瀬戸内国際芸術祭2013」、2014年「中房総国際芸術祭いちほらアート×ミックス ICHIHARA ART × MIX2014」に同劇団参加作品に出演、振付の一部を担当しました。2016年坂田有妃子の初主催としてコンテンポラリーダンス作品「菓」を東京・江戸川橋で単独公演、ほか、個人の主催公演としては2017年ダンス作品「燠火」、12月ダンス作品「狼眼」を公演致しました。

2016年のダンス作品「菓」は翌年8月SAI International Dance Festivalにて受賞、2018年5月SEOUL DANCE PLAY「The 2nd DANCE + PLAY ARTIST SHOW」・韓国で同作品を上演しました。2020年は新型コロナウイルス禍の最中ではありましたが「文化芸術活動の継続支援事業」の助成を経て2つのダンス作品を公演(『watching over』『frost』)することができました。公演の成功、好評価を頂きそしてさまざまなジャンルのアーティストの起用の結果、活発にアーティスト同士の交流を得ることができました。

この度、さまざまなシーンでパフォーマー・ダンサー・振付家として活動してきた坂田がさらなる表現の活躍の場を求め、見た人の心の一部を表現し、あらたな風景をオーディエンスと共感できるような独自のダンス作品を創り、発表する団体として『UNICA(ウニカ)』(任意団体)を発足しました。「UNICA」の語源はスペイン語の「unica」、「唯一の・ユニークな・とっておきの」という意味が由来です。公演として、アートとしてオーディエンスにもパフォーマーにも共に共感してもらい、お互いの「とっておきの・唯一の時間」を創ることがUNICAの目的です。UNICAは主に、ダンスの公演の企画・制作・発表を目指しますが、公演だけでなく、さまざまな人びとに向けてアートをより身近に感じてもらう「創る楽しさ」を体験してもらうために、ワークショップも計画していきます。

UNICA 主宰・振付家・ダンサー



UNICA
Instagram



UNICA
YouTube

《主な出演》

劇団「指輪ホテル」役者/ダンサーとして参加
2006年ヨーロッパ・ツアー(ウェールズ・ロンドン・ポーランド)
2007年アメリカ・ツアー(ボートランド・ニューヨーク)

《振付・出演》

2011年『マリちゃんの身の上話』The exchange project TOKYO × TAIPEI
“public=un+public vol.3” “off-Nibroll × 世紀當代舞園参加作品
(キュレーター:矢内原美邦選出) 門仲天井ホール(門前仲町 東京)
2013年8月 指輪ホテル『あんなに愛しあったのに』出演
瀬戸内国際芸術祭2013 パフォーミングアーツイベントプログラム 参加作品
9月『1 から 42』神楽坂セッションハウス選出4組による公演企画“カトルカール”参加作品
2014年中房総国際芸術祭いちほらアート×ミックス ICHIHARA ART × MIX 2014
指輪ホテル『あんなに愛しあったのに〜中房総小湊鉄道篇』振付・出演
『ナッツ』(映画) 藤山周・千木良悠子・文和 監督作品 ダンサー役 ゆうばり国際ファンタスティック
映画祭2002 オフシアター部門審査員特別賞・トロント国際映画祭正式招待
2018年3月『芸術家の棲む家』山口尚之展示とのコラボレーション企画(BankART Studio NYK)
2019年『command』東京パピロン主催「サンエタ・ソロダンスコレクション vol.2」参加 他

《企画・制作・振付・構成・出演》

2008年10月『瘡蓋』『powder room』世田谷ものづくり学校(池尻・東京)
2011年10月 東京ネットラジオ♪もっしゅの FOXY Music presents
「ヘッドフォンを捨てよ、街へ出よ」※ネットラジオ番組 実写版企画 studio PETU(原宿・東京)
2020年 アートにエールを!東京プロジェクト参加(個人型)『watching over』
2021年12月文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業
ミュージアムロフト主催・坂田有妃子ダンス作品『awayness』
千葉市美術館 さや堂ホール(千葉)

《単独公演》

2016年『菓』Performing Gallery&Cafe 絵空箱(江戸川橋・東京)単独公演
2017年6月『燠火』12月『狼眼』Cafe Muriwui(カフェ・ムリウイ)(祖師ヶ谷大蔵・東京)
2020年11月『watching over』西荻窪 ギャラリー みずのそら
2021年2月『forst』西荻窪 ギャラリー みずのそら
2022年9月『Music from the other side』千葉市美術館 さや堂ホール(千葉)
2022年12月『Re: awayness』千葉市美術館 さや堂ホール(千葉)